

# 「島原半島の活断層を読む」

地震災害から身を守るために

アメリカのハリケーン「カトリーヌ」よりも大きい台風、ということで心配した第14号台風も、有明海付近を通過、諫早市に上陸したものの、当地方には大した被害もなくホッとしました。

しかし、今月は83年前の関東大震災を記念して設けられた「防災の月」として、全国で地震や噴火、台風などの自然災害を防止する催しが行われています。

私たちは、普賢噴火が収まって約10年、台風も大過なく過ぎてひと安心したところですが、こんな時こそかえって油断なりません。「天災は忘れた時にやって来」ます。

特に、地震はいつ起きるか、現時点では予測ができないとのことで、今日でも、ぐらっと、やって来ないとはかぎりません。

この1、2年全国的にも地震が続いています。しかも、阪神、福岡など、これまで長く地震がなく、大丈夫だと安心していただるところで起きたりしています。

地震の震源になるといわれる「活断層」について、国や県で平成14年から昨年にかけて調査を行い、この間、その結果がまとまりました。

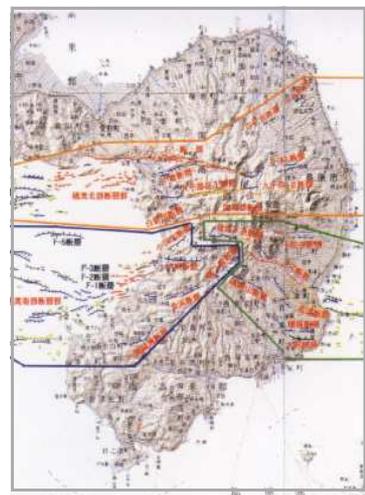
島原市内の皆さんには各戸に「我が家の防災マニュアル」として、パンフレットが配られました。

ご覧になって、私たちのこの半島が、いかに活断層が多いか驚かれたことと思います。報告のままではわかりにくいと言われる方がありますので、その見方、読み方について下記のように分かりやすく解説をお願いすることにいたしました。

講師は国見町にお住まいで、この間まで島原高校でご指導をされ、現在は長崎県教育センターの指導主事をなさっています、寺井邦久先生にお願いしました。

先生は長く火山や地震等を研究され、さらに非常な難関の気象予報士の資格も持っておられます。

いつ起きても不思議ではないといわれる当地方の地震から身を守り、家族や財産を守るために、どうぞ、お繰り合わせ、お誘い合っご来聴のほど、ご案内申し上げます。



## 記

- 1 日時 平成17年9月20日(火) 午後7時30分～9時頃
- 2 場所 島原市城内二の丸 森岳公民館 2階大ホール
- 3 演題 「島原半島の活断層を読む」～地震災害から身を守るために～
- 4 講師 長崎県教育センター  
指導主事・気象予報士 寺井邦久先生

※お願い：お手数ですが、前に市から配付されました、パンフレット「防災マニュアル」を当日ご持参ください。